

Mizuho Daily Market Report

2024/6/6

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	156.15	156.11	+1.23	▲1.53
EUR	1.0873	1.0869	▲0.0010	+0.0068
AUD	0.6657	0.6648	▲0.0001	+0.0038
SGD	1.3472	1.3488	+0.0021	▲0.0034
CNY	7.2458	7.2477	+0.0074	▲0.0015
MYR	4.6977	4.6978	▲0.0039	▲0.0067
THB	36.65	36.69	+0.10	▲0.06
IDR	16280	16285	+65	+125
PHP	58.79	58.80	+0.06	+0.36
INR	83.40	83.38	▲0.15	+0.04
VND	25416	25423	+7	▲35

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.276%	▲5.0 bp	▲33.6 bp
日本(10年)	1.017%	▲1.3 bp	▲6.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.512%	▲2.2 bp	▲17.8 bp
オーストラリア(5年)	3.969%	▲4.5 bp	▲13.9 bp
シンガポール(5年)	3.230%	▲1.5 bp	▲11.4 bp
中国(5年)	2.055%	▲1.1 bp	▲2.8 bp
マレーシア(5年)	3.662%	▲1.2 bp	▲2.8 bp
タイ(5年)	2.507%	+0.7 bp	▲0.6 bp
インドネシア(5年)	6.865%	+2.5 bp	▲4.3 bp
フィリピン(5年)	6.352%	▲1.8 bp	▲6.7 bp
インド(5年)	7.072%	▲2.8 bp	+0.9 bp
ベトナム(5年)	2.160%	▲1.0 bp	▲2.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,807.33	+0.2%	+1.0%
N225(日本)	38,490.17	▲0.9%	▲0.2%
STOXX50(ユーロ圏)	5,035.66	+1.7%	+1.5%
ASX(オーストラリア)	4,502.58	+0.1%	+0.8%
FTSE(シンガポール)	3,330.01	▲0.3%	+0.2%
SSEC(中国)	3,065.40	▲0.8%	▲1.5%
SENSEX(インド)	74,382.24	+3.2%	▲0.2%
JKSE(インドネシア)	6,947.67	▲2.1%	▲2.7%
KLSE(マレーシア)	1,608.53	▲0.4%	+0.2%
PSE(フィリピン)	6,441.32	+0.9%	+0.5%
SETI(タイ)	1,338.32	+0.1%	▲0.9%
VNINDEX(ベトナム)	1,284.35	+0.1%	+0.9%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	287.71	+0.5%	▲3.3%
金	2,355.32	+1.2%	+0.7%
原油(WTI)	74.07	+1.1%	▲6.5%
銅	9,806.25	▲0.1%	▲5.0%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	153.60	—	155.90
EUR/USD	1.0740	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6790
USD/SGD	1.3390	—	1.3680
USD/CNY	7.2350	—	7.2680
USD/INR	4.6260	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	37.40
USD/IDR	15880	—	16300
USD/PHP	56.70	—	59.30
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は155円台前半レベルで取引を開始。メキシコ・インドの選挙からの流れが前日海外までで消化されたことが確認されると、東京時間9時過ぎには155円台半ばまで上昇。午後に入っても巻き戻しの動きは変わらず、155円台後半レベルに上昇し、そのまま欧州時間へ。アジア通貨は総じて堅調な動き。インド総選挙ではモディ現政権の政権維持が決定的となり、インドルピーは前日から反発し対ドルで0.2%上昇。

NY時間は156円台前半レベルでオープンした後、朝方は米5月ADP雇用統計が予想を下回り、前月分も下方修正されたことから、金曜発表の米雇用統計に対する警戒も重なりアジア時間クローズレベルの155円台後半まで下落。その後米5月ISM非製造業景況指数が構成指数の仕入価格、雇用等が予想を下回る一方、新規受注が予想に反し前回から改善したこと等を背景に発表直前瞬間は再びドルが売られるも一時的ですぐに156円台半ばまで反発。その後は米金利が低下する動きに上値を抑えられ、156円ちょうどレベルでクローズ。

【金利】

米金利市場は米5月ADP雇用統計指標が予想対比・前月対比軟化したことを受け金利低下で反応、米10年金利は一時4.3%まで低下。その後の米5月ISM非製造業の発表後には一時売り戻される局面もあったが、NY時間午後にかけては再び買戻しの流れとなり、4.3%を割り込むレベルで引けた。

【予想】

本日のドル円は上値重く方向感に乏しい展開を予想。米ADP雇用統計が冴えない一方でISM非製造業景況指数が予想を上回ったが、内訳を見ると仕入れや雇用の数字が弱含んだことが確認され、今週金曜の米雇用統計への警戒感が高まりドル円上昇の重石となっている。また本日のECBでは利下げがほぼ織り込まれており、先々の追加利下げについてもヒントが出てくればドル円の動きにも影響を与える可能性があり、要注目。

【本日の予定】

(日本) 5月 東京オフィス空室率
(日本) 国債入札(30Y)
(アジア) 1Q NZ 全建物実質価値
(アジア) 4月 フィリピン 失業率
(アジア) 4月 豪 持家住宅ローン / 住宅ローン額 / 投資家ローン額
(アジア) 4月 豪 貿易収支
(アジア) 5月 ベトナム 国内自動車販売台数
(アジア) 休場 韓国
(欧州) 4月 ユーロ圏 小売売上高
(欧州) 4月 伊 小売売上高
(欧州) 4月 独 製造業受注
(欧州) ECB政策理事会
(欧州) ラルド ECB総裁会見
(米国) 1Q 非農業部門労働生産性(確) / 単位人件費(確)
(米国) 4月 貿易収支
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。